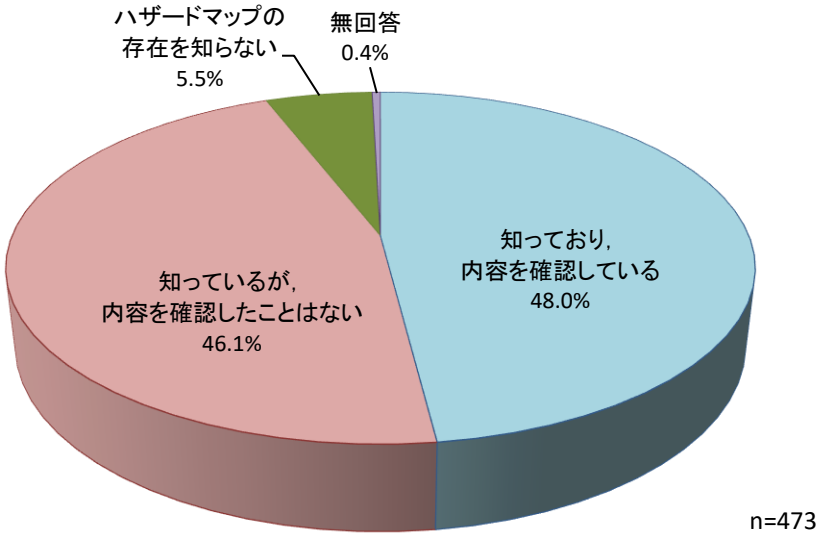
7．水災害（洪水など）への備えについて

（1）ハザードマップの存在の認知度

◇「知っており，内容を確認している」が５割弱

問２４　あなたは，「ハザードマップ」の存在を知っていますか。	（○は１つ）
	n=473
1　知っており，内容を確認している	48.0%
2　知っているが，内容を確認したことはない	46.1%
3　ハザードマップの存在を知らない	5.5%
（無回答）	0.4%

＜図Ⅳ－７－１＞全体



「ハザードマップ」の存在を知っているかについては，「知っており，内容を確認している」が 48.0%で最も高く，次いで「知っているが，内容を確認したことはない」が 46.1%であった。（図Ⅳ－７－１）

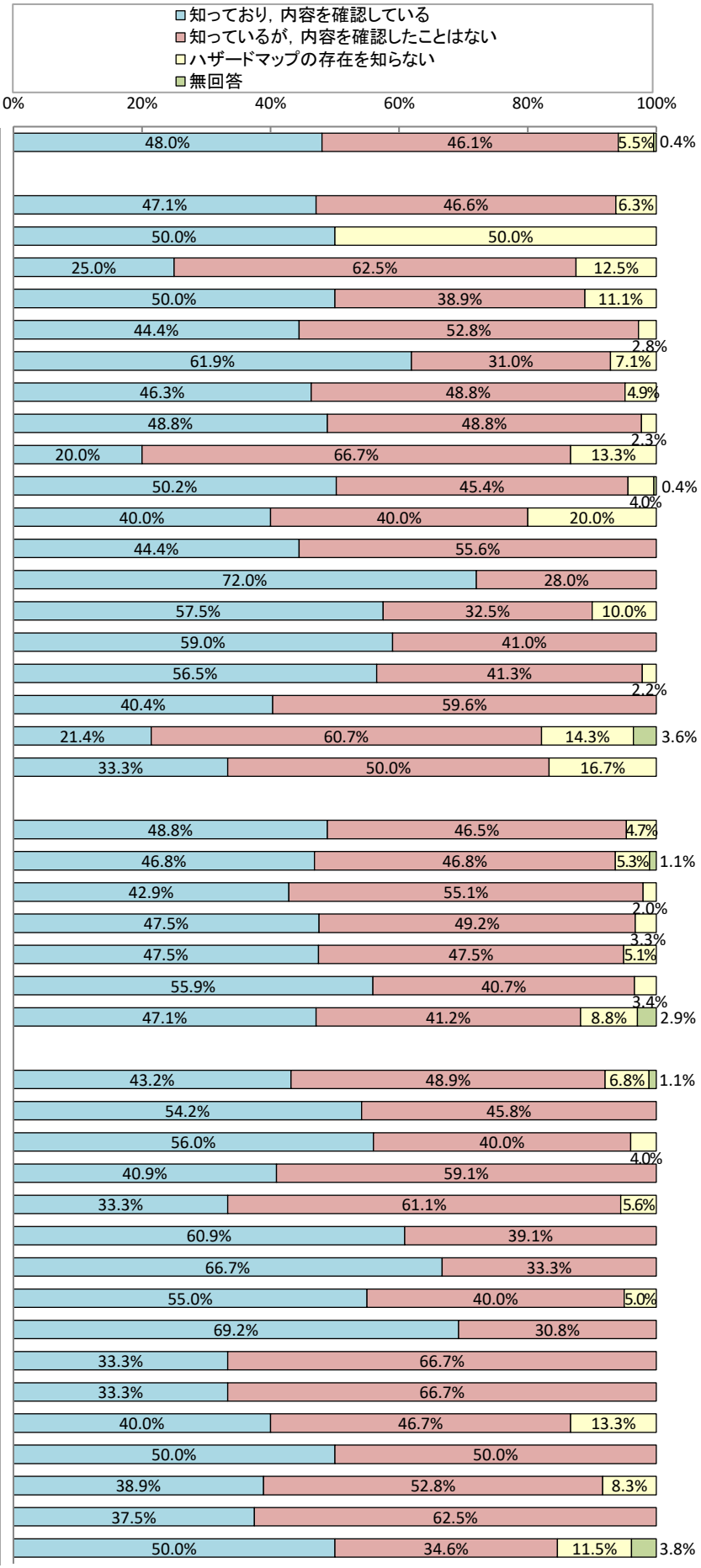
＜参考＞

性別・年齢別でみると，「知っており，内容を確認している」は＜女性 30 歳代＞が 72.0%で最も高く，次いで＜男性 50 歳代＞が 61.9%であった。（図Ⅳ－７－２）

居住地域別でみると，「知っており，内容を確認している」は＜北部地域＞が 55.9%で最も高く，次いで＜本庁（都心）＞が 48.8%であった。（図Ⅳ－７－２）

居住地区別でみると，「知っており，内容を確認している」は＜国本＞が 69.2%で最も高く，次いで＜瑞穂野＞が 66.7%，＜横川＞が 60.9%と続いた。（図Ⅳ－７－２）

＜図Ⅳ－７－２＞性別・年齢別／居住地域別／居住地区別



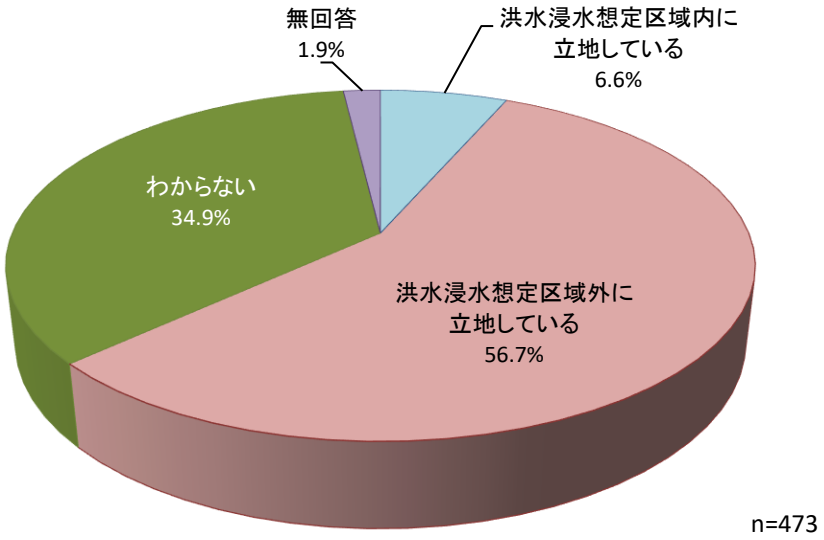
		知っており，内容を確認している	知っているが，内容を確認したことはない	ハザードマップの存在を知らない	無回答
全体	(473)	48.0%	46.1%	5.5%	0.4%
【性別・年齢別】					
男性(計)	(206)	47.1%	46.6%	6.3%	
10 歳代	(2)	50.0%		50.0%	
20 歳代	(8)	25.0%	62.5%	12.5%	
30 歳代	(18)	50.0%	38.9%	11.1%	
40 歳代	(36)	44.4%	52.8%		2.8%
50 歳代	(42)	61.9%	31.0%	7.1%	
60 歳代	(41)	46.3%	48.8%	4.9%	
70 歳代	(43)	48.8%	48.8%		2.3%
80 歳以上	(15)	20.0%	66.7%	13.3%	
女性(計)	(249)	50.2%	45.4%		0.4% 4.0%
10 歳代	(5)	40.0%	40.0%	20.0%	
20 歳代	(9)	44.4%	55.6%		
30 歳代	(25)	72.0%	28.0%		
40 歳代	(40)	57.5%	32.5%	10.0%	
50 歳代	(39)	59.0%	41.0%		
60 歳代	(46)	56.5%	41.3%		2.2%
70 歳代	(57)	40.4%	59.6%		
80 歳以上	(28)	21.4%	60.7%	14.3%	3.6%
その他	(6)	33.3%	50.0%	16.7%	
【居住地域別】					
本庁（都心）	(43)	48.8%	46.5%	4.7%	
本庁（周辺）	(94)	46.8%	46.8%	5.3%	1.1%
東部地域	(49)	42.9%	55.1%		2.0%
西部地域	(61)	47.5%	49.2%		3.3%
南部地域	(59)	47.5%	47.5%	5.1%	
北部地域	(59)	55.9%	40.7%		3.4%
上河内・河内地域	(34)	47.1%	41.2%	8.8%	2.9%
【居住地区別】					
本庁	(88)	43.2%	48.9%	6.8%	1.1%
宝木	(24)	54.2%	45.8%		
陽南	(25)	56.0%	40.0%		4.0%
平石	(22)	40.9%	59.1%		
清原	(18)	33.3%	61.1%	5.6%	
横川	(23)	60.9%	39.1%		
瑞穂野	(9)	66.7%	33.3%		
豊郷	(40)	55.0%	40.0%	5.0%	
国本	(13)	69.2%	30.8%		
富屋	(3)	33.3%	66.7%		
篠井	(3)	33.3%	66.7%		
城山	(15)	40.0%	46.7%	13.3%	
姿川	(46)	50.0%	50.0%		
雀宮	(36)	38.9%	52.8%	8.3%	
上河内	(8)	37.5%	62.5%		
河内	(26)	50.0%	34.6%	11.5%	3.8%

（２）住んでいる建物（住宅）は，洪水浸水想定区域内，または洪水浸水想定区域外か

◇「洪水浸水想定区域外に立地している」が６割弱

問２５	あなたの住んでいる建物（住宅）は，「ハザードマップ」で示す洪水浸水想定区域内，または洪水浸水想定区域外のどちらに立地していますか。（○は１つ）	
		n=473
1	洪水浸水想定区域内に立地している	6.6%
2	洪水浸水想定区域外に立地している	56.7%
3	わからない	34.9%
	（無回答）	1.9%

＜図Ⅳ－７－３＞全体



住んでいる建物（住宅）は，「ハザードマップ」で示す洪水浸水想定区域内，または洪水浸水想定区域外のどちらに立地しているかについては，「洪水浸水想定区域外に立地している」が 56.7%で最も高く，次いで「わからない」が 34.9%，「洪水浸水想定区域内に立地している」が 6.6%であった。（図Ⅳ－７－３）

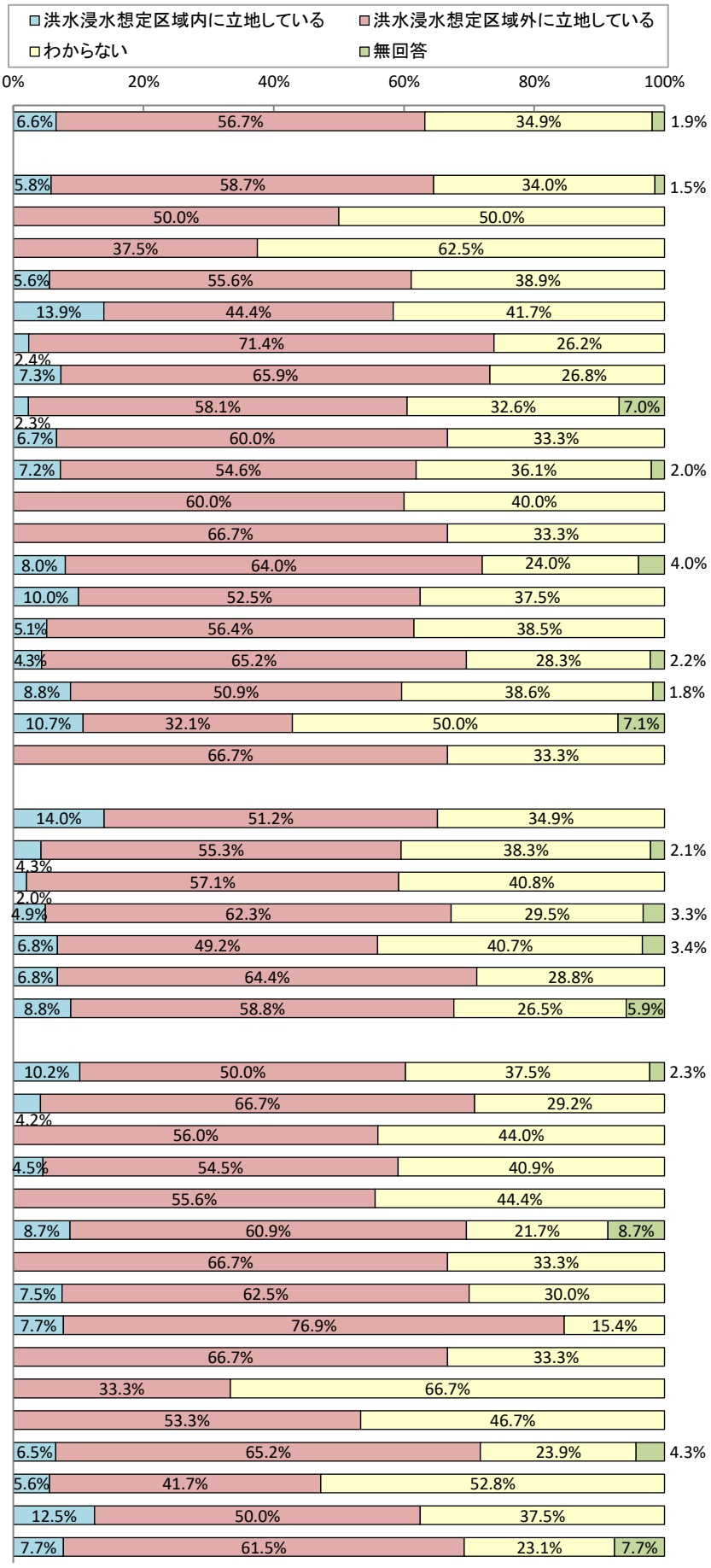
＜参考＞

「洪水浸水想定区域内に立地している」を性別・年齢別でみると，いずれの年代でも 15.0%に届かず，＜その他＞を除くと，＜男性 40 歳代＞が 13.9%で最も高く，次いで＜女性 80 歳代＞が 10.7%であった。（図Ⅳ－７－４）

居住地域別でみると，＜本庁（都心）＞が 14.0%で最も高く，次いで＜上河内・河内地域＞が 8.8%であった。（図Ⅳ－７－４）

居住地区別でみると，＜上河内＞が 12.5%で最も高く，次いで＜本庁＞が 10.2%，＜横川＞が 8.7%と続いた。（図Ⅳ－７－４）

＜図Ⅳ－７－４＞性別・年齢別／居住地域別／居住地区別



		洪水浸水想定区域内に立地している	洪水浸水想定区域外に立地している	わからない	無回答
全体	(473)	6.6%	56.7%	34.9%	1.9%
【性別・年齢別】					
男性(計)	(206)	5.8%	58.7%	34.0%	1.5%
10 歳代	(2)		50.0%	50.0%	
20 歳代	(8)		37.5%	62.5%	
30 歳代	(18)	5.6%	55.6%	38.9%	
40 歳代	(36)	13.9%	44.4%	41.7%	
50 歳代	(42)	2.4%	71.4%	26.2%	
60 歳代	(41)	7.3%	65.9%	26.8%	
70 歳代	(43)	2.3%	58.1%	32.6%	7.0%
80 歳以上	(15)	6.7%	60.0%	33.3%	
女性(計)	(249)	7.2%	54.6%	36.1%	2.0%
10 歳代	(5)		60.0%	40.0%	
20 歳代	(9)		66.7%	33.3%	
30 歳代	(25)	8.0%	64.0%	24.0%	4.0%
40 歳代	(40)	10.0%	52.5%	37.5%	
50 歳代	(39)	5.1%	56.4%	38.5%	
60 歳代	(46)	4.3%	65.2%	28.3%	2.2%
70 歳代	(57)	8.8%	50.9%	38.6%	1.8%
80 歳以上	(28)	10.7%	32.1%	50.0%	7.1%
その他	(6)		66.7%	33.3%	
【居住地域別】					
本庁（都心）	(43)	14.0%	51.2%	34.9%	
本庁（周辺）	(94)	4.3%	55.3%	38.3%	2.1%
東部地域	(49)	2.0%	57.1%	40.8%	
西部地域	(61)	4.9%	62.3%	29.5%	3.3%
南部地域	(59)	6.8%	49.2%	40.7%	3.4%
北部地域	(59)	6.8%	64.4%	28.8%	
上河内・河内地域	(34)	8.8%	58.8%	26.5%	5.9%
【居住地区別】					
本庁	(88)	10.2%	50.0%	37.5%	2.3%
宝木	(24)		66.7%	29.2%	
陽南	(25)	4.2%	56.0%	44.0%	
平石	(22)	4.5%	54.5%	40.9%	
清原	(18)		55.6%	44.4%	
横川	(23)	8.7%	60.9%	21.7%	8.7%
瑞穂野	(9)		66.7%	33.3%	
豊郷	(40)	7.5%	62.5%	30.0%	
国本	(13)	7.7%	76.9%	15.4%	
富屋	(3)		66.7%	33.3%	
篠井	(3)		33.3%	66.7%	
城山	(15)		53.3%	46.7%	
姿川	(46)	6.5%	65.2%	23.9%	4.3%
雀宮	(36)	5.6%	41.7%	52.8%	
上河内	(8)	12.5%	50.0%	37.5%	
河内	(26)	7.7%	61.5%	23.1%	7.7%

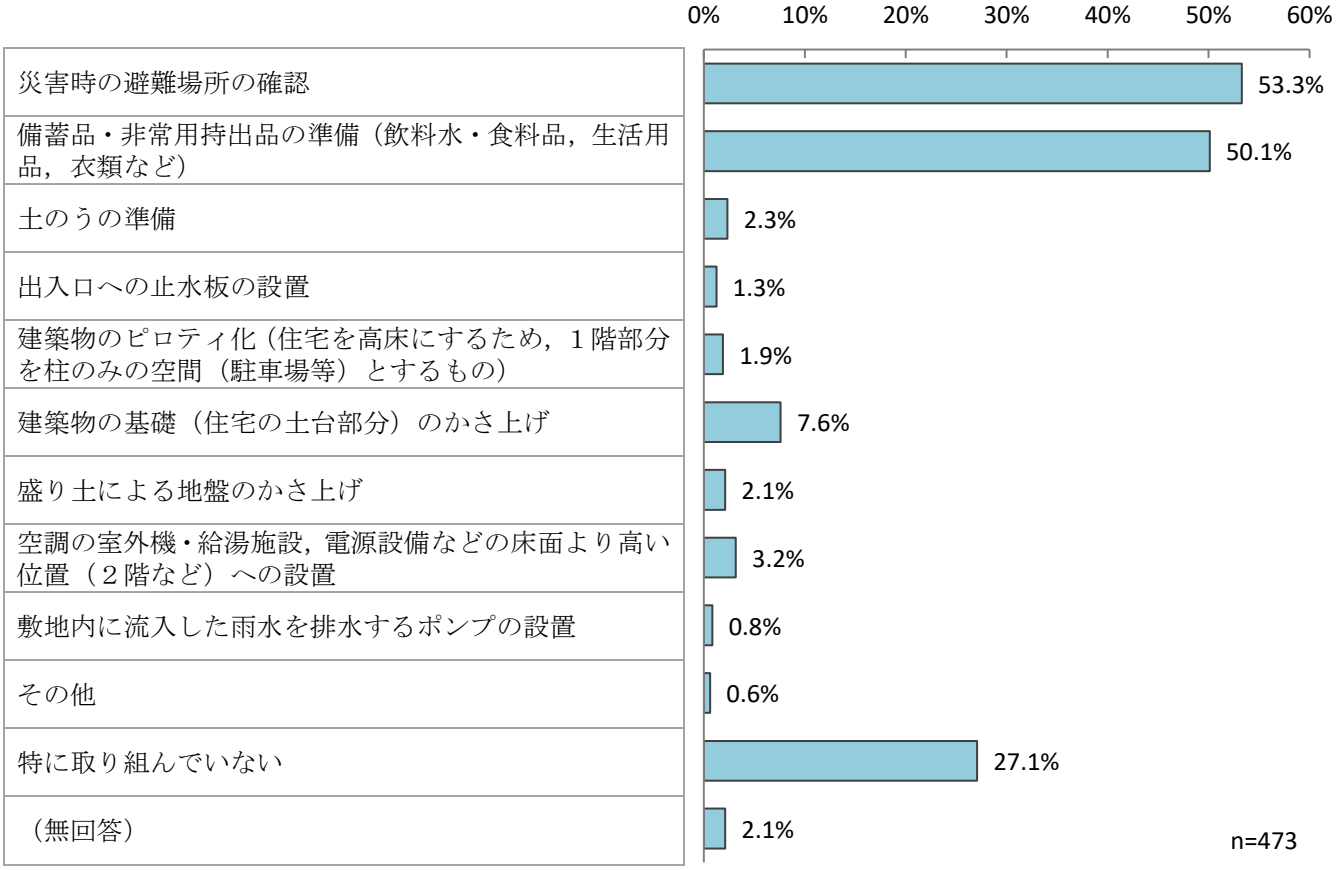
（３）水災害への備えに取り組んでいるか

◇「災害時の避難場所の確認」が５割強

問２６　あなたは，水災害（洪水など）に対し，あらかじめ備えるため，以下の水災害への備えに取り組んでいますか。該当するものを全て選んでください。（○はいくつでも）

		n=473
1	災害時の避難場所の確認	53.3%
2	備蓄品・非常用持出品の準備（飲料水・食料品，生活用品，衣類など）	50.1%
3	土のうの準備	2.3%
4	出入口への止水板の設置	1.3%
5	建築物のピロティ化（住宅を高床にするため，１階部分を柱のみの空間（駐車場等）とするもの）	1.9%
6	建築物の基礎（住宅の土台部分）のかさ上げ	7.6%
7	盛り土による地盤のかさ上げ	2.1%
8	空調の室外機・給湯施設，電源設備などの床面より高い位置（２階など）への設置	3.2%
9	敷地内に流入した雨水を排水するポンプの設置	0.8%
10	その他	0.6%
11	特に取り組んでいない	27.1%
	（無回答）	2.1%

＜図Ⅳ－７－５＞全体

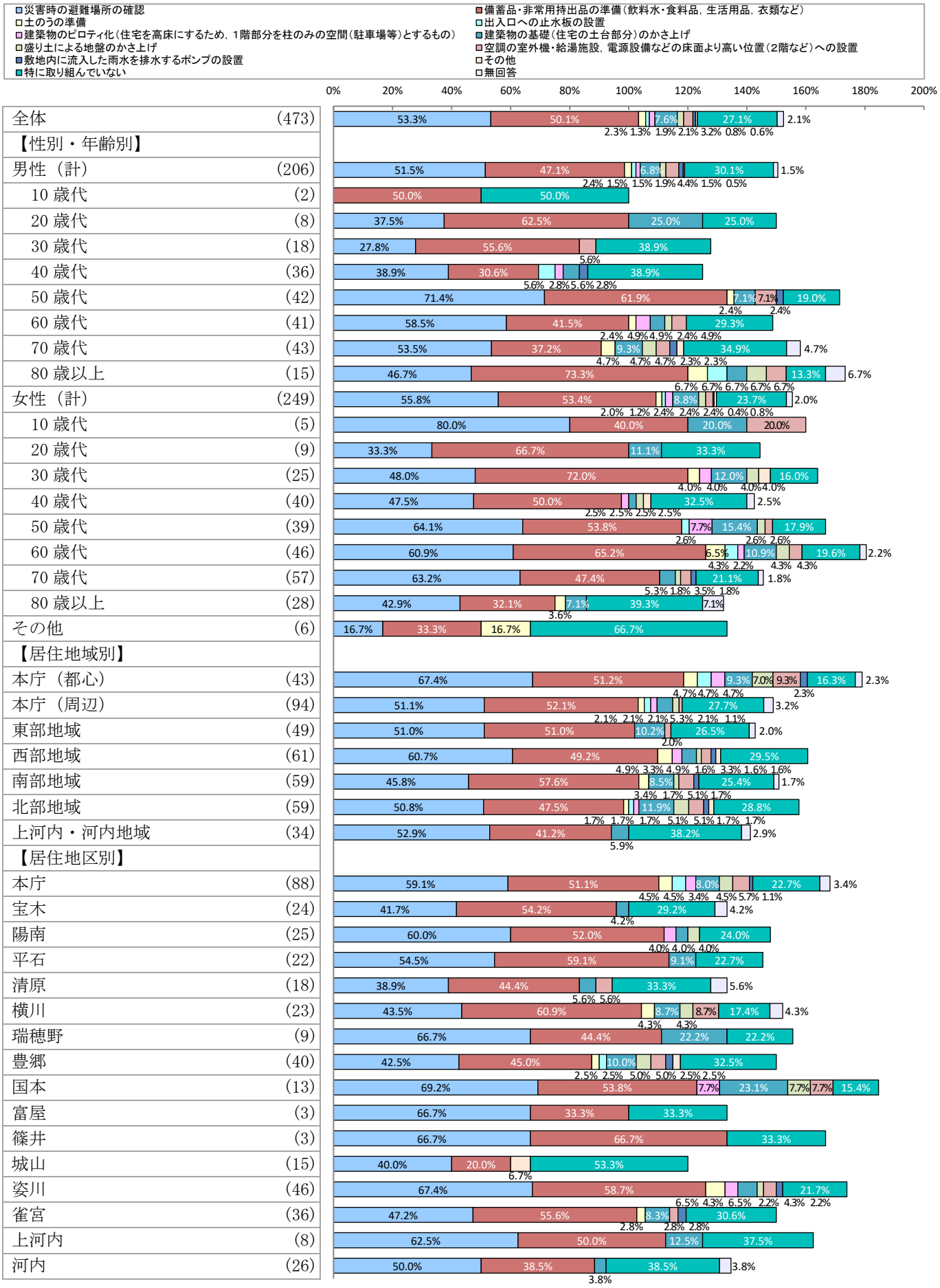


水災害（洪水など）に対し，あらかじめ備えるため，水災害への備えに取り組んでいるものについては，「災害時の避難場所の確認」が 53.3%で最も高く，次いで「備蓄品・非常用持出品物の準備（飲料水・食料品，生活用品，衣類など)」が 50.1%，「特に取り組んでいない」が 27.1%と続いた。（図Ⅳ－７－５）

＜参考＞

性別・年齢別でみると，「災害時の避難場所の確認」は＜女性 10 歳代＞が 80.0%で最も高く，次いで＜男性 50 歳代＞が 71.4%，＜女性 50 歳代＞が 64.1%と続いた。「備蓄品・非常用持出品の準備（飲料水・食料品，生活用品，衣類など)」は＜男性 80 歳以上＞が 73.3%で最も高く，次いで＜女性 30 歳代＞が 72.0%，＜女性 20 歳代＞が 66.7%と続いた。一方，「特に取り組んでいない」は＜その他＞を除くと，＜男性 10 歳代＞が 50.0%で最も高く，次いで＜女性 80 歳以上＞が 39.3%，＜男性 30・40 歳代＞が 38.9%と続いた。（図Ⅳ－７－６）

居住地域別でみると，「災害時の避難場所の確認」は＜本庁（都心）＞が 67.4%で最も高く，次いで＜西部地域＞が 60.7%，＜上河内・河内地域＞が 52.9%と続いた。「備蓄品・非常用持出品の準備（飲料水・食料品，生活用品，衣類など)」は＜南部地域＞が 57.6%で最も高く，次いで＜本庁（周辺）＞が 52.1%，＜本庁（都心）＞が 51.2%，と続いた。一方，「特に取り組んでいない」は＜上河内・河内地域＞が 38.2%で最も高く，次いで＜西部地域＞が 29.5%，＜北部地域＞が 28.8%と続いた。
（図Ⅳ－７－６）

居住地区別でみると，「災害時の避難場所の確認」は＜国本＞が 69.2%で最も高く，次いで＜姿川＞が 67.4%，＜瑞穂野＞＜富屋＞＜篠井＞が 66.7%と続いた。「備蓄品・非常用持出品の準備（飲料水・食料品，生活用品，衣類など)」は＜篠井＞が 66.7%で最も高く，次いで＜横川＞が 60.9%，＜平石＞が 59.1%と続いた。一方，「特に取り組んでいない」は＜城山＞が 53.3%で最も高く，次いで＜河内＞が 38.5%，＜上河内＞が 37.5%と続いた。（図Ⅳ－７－６）

＜図Ⅳ－７－６＞性別・年齢別／居住地域別／居住地区別